

■泌尿器科からのご案内

2016年3月より当院泌尿器科に入職された非常勤医師をご紹介します。

特別外来として毎月第2水曜午後に『排尿外来』を開設しています。

泌尿器科非常勤・朝倉医師 就任のご挨拶

埼玉医科大学病院に赴任して7年となり、本年3月より、行田総合病院泌尿器科のお手伝いをする事となりました。埼玉県は、特に近年高齢者が増加して、ますます、前立腺癌や膀胱癌などの悪性疾患、前立腺肥大症、尿失禁などの良性疾患の泌尿器科領域疾患に困っている方が増加する一方です。特に、埼玉県北部は、泌尿器科を専門に扱う病院は少なく、行田総合病院泌尿器科はこの地域の泌尿器科を支える意味で重要な役割を果たしていることは言うまでもありません。

私の専門は、排尿障害です。おしっこが出にくい、おしっこの回数が多い、おしっこが漏れるなどの症状を呈するのが下部尿路障害であります。特に、高齢者においては、下部尿路障害で困っていらっしゃる方が多いと思います。高齢者の方は、何らかの基礎疾患（高血圧、脳梗塞、循環器疾患）を有していることも多く、それが原因になっている可能性もあり、多くの要因が関連しており、治療に苦慮することもあります。しかし、病態を正確に診断し、適切な治療を選択すれば、治すことあるいは症状を軽減することは十分に可能です。

例えば、過活動膀胱、前立腺肥大症による排尿障害、腹圧性尿失禁（咳や立ったときに尿が漏れる）は、適切な薬物療法や手術により治療することは可能です。しかし、下部尿路障害の中には、根本的な病態を治すことできない（脳梗塞などのひどい後遺症など）病態があることも事実です。そのような場合には、適切な方法（おむつ、失禁パンツ、自己導尿、カテーテル留置など）で対応することも可能です。本院には、WOC ナース（尿失禁や便失禁に対する適切な看護、対応方法、指導などの技量を身につけている皮膚・排泄ケア認定看護師）も常勤でありますので、皆様の要望に十分に応えることができます。

是非とも、泌尿器科外来を受診していただければ幸いです。

朝倉博孝

HIROTAKA ASAKURA

慶應義塾大学 昭和58年卒

専門科目：泌尿器科（排尿障害・女性泌尿器）

専門医・認定医：日本泌尿器科学会専門医・指導医
日本泌尿器学会評議員
日本排尿機能学会監事・評議員

PROFILE

1983年 慶應義塾大学医学部外科	1995年 米国マサチューセッツ総合病院泌尿器科臨床研究員
1984年 大和市立病院外科	1999年 慶應義塾大学医学部泌尿器科専任講師
1986年 国立栃木病院泌尿器科	2000年 東京電力病院泌尿器科科長
1987年 国立霞ヶ浦病院泌尿器科	2009年 埼玉医科大学病院泌尿器科准教授
1989年 警友病院泌尿器科	2010年 埼玉医科大学病院泌尿器科教授
1993年 米国マサチューセッツ工科大学化学部研究員	



地域医療連携室 VOICE

日頃より地域医療連携にご協力を賜り誠にありがとうございます。今月号では泌尿器科常勤医師と非常勤医師をご紹介します。泌尿器科は常勤医師が4名・非常勤医師が5名となり、部長・林医師の思い描くチームの未来像が確立されつつあります。同時に「泌尿器に強い」と言われてきた当院のキャッチフレーズをより一層パワーアップして掲げてまいります。

地域医療連携室 黒田 綾

地域医療連携室 直通 TEL.048-564-2537

直通 FAX.048-564-2538